

総務文教委員会

渡辺 佳正 委員長 コメント

来年2月1日オープン予定の富士根交流センターについては、他の交流センターの運営実績、地域との連携体制などの観点から、また来年で開館6年目を迎える富丘交流センターについてはこれまでの活発な世代間交流や地域間交流を評価して、富士宮市振興公社を指定管理者に選定することを可決しました。今後は、利用率のさらなる向上、防災拠点としての機能、障がい者への配慮、交流センター間の連携充実などに取り組むことを期待します。



▲富士根交流センター完成予想図



▲富丘交流センター

先進地視察

10/27～28

守口市：小中一貫校としたさつき学園の視察について
安芸高田市：小学校統合の取組と今後の中学校統合に向けた取組について

両市を視察して、学校統合には強力な地域連携が必要なこと、小中学校間で教員配置の融通が効くこと、統合に伴う新校舎建設や通学支援に国と県の補助制度があること、特別支援学級・不登校対策・少人数学級が充実していること、中1への移行がスムーズであること、経費削減ではなく教育環境・学力向上が目的であることなどについて認識を深めました。学力向上の分析については、「だれ一人取り残さない教育」、「教員の多忙化解消」などの観点も必要だと感じました。



▲さつき学園校長と質疑応答



▲視察後に、安芸高田市議会議場での集合写真